

公民科（現代社会）学習指導案（例）

| | |
|------|--------------------|
| 日時 | 平成〇〇年〇月〇日（〇）第〇校時 |
| 学年・組 | 〇〇科 〇年〇組（〇〇名） |
| 教材 | 教科書名（出版社）資料名（出版社名） |
| 指導者 | 教諭 〇〇 〇〇 |

1 単元 「政府の経済的役割と金融」

2 単元の目標

- ・時事と関連させながら、政府の金融政策や財政政策についての関心を高める。 【関心・意欲・態度】
- ・日本の抱える金融・財政の課題を見だし、見いだした課題について思考し判断したことを自他に対して適切に表現する。 【思考・判断・表現】
- ・金融や財政について説明した資料を基に、その仕組みをまとめ、活用できるようにする。 【資料活用の技能】
- ・政府の役割と財政・租税、金融について理解を深める。 【知識・理解】

3 単元の指導観

(1) 指導観

現代の経済社会の変容などに触れながら、金融や財政に対する興味・関心を喚起させたい。また、満18歳からは高校生も選挙で意思表示ができることを自覚させ、金融や財政の課題を解決するためにはどのようなことができるかを、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察させたい。

(2) 生徒の実態 [略]

4 単元の評価規準

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 資料活用の技能 | 知識・理解 |
|---|--|---|---|
| 政府の経済的役割について関心を持ち、現代の経済社会の諸事象を的確に捉えようとしている。 | 財政や金融の仕組みから課題を見だし、他者との検討を通して多角的に検証し、適切に表現している。 | 財政や金融の課題について考察したことや学習の成果について、教科書や資料から適切にまとめ、効果的に活用している。 | 財政や金融のしくみと機能に関する知識を、法的根拠とともに身につけ、国民福祉の向上と関連づけて理解を深めている。 |

5 単元の指導計画(4時間)

| 次 | 時 | 学 習 内 容 | 評 価 計 画 |
|---|---------|----------------------|---|
| 1 | 1 | 1 政府の役割と 財政(財政制度) | 【資料活用の技能】 ・財政制度の基礎となる予算や租税の概要について、資料から必要な情報を読み取り分かりやすくまとめ、活用しようとしている。 【知識・理解】 ・財政政策の意義や役割、財政制度の基礎となる予算や租税の概要について理解し、その知識を身に付けている。 |
| | 2 本時 | 1 政府の役割と 財政(財政問題) | 【関心・意欲・態度】 ・税金はどのようにして集められ、どのように使われているかについて、納税者、有権者となる立場から関心を高めている。 【思考・判断・表現】 ・公費負担の意義と必要性について、社会の変化を踏まえ、幸福、正義、公正などを用いて多面的、多角的に考察し、適切に表現している。 |

| | | | |
|---|---|----------------|--|
| 2 | 3 | 2 金融のしくみと働き | 【関心・意欲・態度】 ・金融政策の動向や金融の自由化、国際化について、具体的な事例を通して、意欲的に追究しようとしている。 【資料活用の技能】 ・直接金融の割合の変化や、近年の金融制度や資金の流れの変化等について、資料から必要な情報を読み取り、活用している。 |
| 3 | 4 | 3 中央銀行の役割と金融政策 | 【思考・判断・表現】 ・クレジットカードや電子マネーなどの普及によるキャッシュレス社会の進行がもたらす影響を、多面的・多角的に考察しようとしている。 【知識・理解】 ・金融の意義や役割を理解するとともに、金融市場の仕組み、中央銀行の役割や金融政策の目的と手段についても理解している。 |

6 本時の目標（第2時）

- 税金はどのようにして集められ、どのように使われているかについて納税者、有権者となる立場から関心を高めている。 **【関心・意欲・態度】**
- 公的負担の意義と必要性について、社会の変化を踏まえ、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 **【思考・判断・表現】**

7 本時の指導

| | 学習内容 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点 | 評価 [評価方法] |
|------------|--|---|---|--|
| 導入 10分 | <ul style="list-style-type: none"> 前時の復習 本時の学習課題の把握 | <ul style="list-style-type: none"> 歳入と歳出に関する問題点を資料から読み取り、ワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> 発問により前時の学習内容のポイントを確認させる。 自分の考えを記入するように促す。悩んでいるときには支援する。 | |
| 展開 30分 | <ul style="list-style-type: none"> 話し合い テーマ「日本の税金はどう集め、どのように使うのが望ましいか」 発表 | <ul style="list-style-type: none"> 個別にワークシートに考えをまとめる。 班をつくり、考えを共有する。 班ごとに意見をまとめ、発表する。 他の班の発表を聞き、違う立場の意見や興味をもった発言をワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> 考えが浮かばない生徒には、「消費税」などの具体的事例を示し考えさせる。 机間指導を行い、話し合いが円滑に進むよう支援する。 発表のキーワードを短冊に記入させ、黒板に貼らせる。 短冊を分類し、タイトルをつけることで意見を可視化し、ワークシートにまとめやすくする。 | 【関心・意欲・態度】 ・税金はどのようにして集められ、どのように使われているかについて納税者、有権者となる立場から関心を高めている。 [ワークシート、話し合い、発表] |
| まとめ 15分 | <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のまとめ | <ul style="list-style-type: none"> 個別に本時を振り返り、他班の考えた課題解決の方法に対し、「公正」であるのかという視点から、より望ましい方策を考察する。 | <ul style="list-style-type: none"> 話し合いや発表を踏まえて分かったことだけではなく、自らの考えの変容も書くよう指導する。 | 【思考・判断・表現】 ・公的負担の意義と必要性について、社会の変化を踏まえ、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 [ワークシート、発表] |